

新会館建築レポート (小規模保育園)

来年3月の竣工を目指して槌音が響く新会館と保育園。穴山通り側に面しているのが小規模保育園です。外からは見ることが出来ない、貴重な建築中の写真を依田メンより頂きましたのでご紹介致します。この建物は2階建てで、「小規模保育園」(定員は19名)となります。今迄の「つぼみグループ」を発展させ「月〜土」まで「朝8時から夜7時まで」お預かりする計画だとのこと。もともと中央保育所があった場所ですから預けたい方のニーズが高い地域です。YMCAの保育園にお子様を預けて、市中心部へ通うことができますね。また新会館には通所介護サービス「新・ぶどうの木」(仮称)ができますから、まさしくFOR ALLが出来上がります。0歳児〜4歳児、小学生対象のプライムタイム(学童保育)、発達児童支援ほかほかきらきら、そしてお年寄り向け介護サービス。みなさんも是非建築現場に足を運んで、姿が出来上がってくるのを「目撃」してみてください。文責:山本 俊一



*もうすぐここにクリスマス電飾が灯るようですよ!



*2階南側ベランダ *2階地域交流室より



*2階地域交流室より天上をのぞむ。もこもこは耐火被覆材。

項目	ニコニコボックス	バザー収益金	クリスマスオークション	切手
目標値	250,000	50,000	50,000円	5,000g
11月の合計	21,430	129,600		
11月末迄累計	139,443	136,370		0g
達成率	55.8%	272.7%	%	0%

山梨YMCA便り
YMCAの12月はクリスマス三昧

山梨YMCA 総主事 露木 淳司

山梨YMCAで行われるクリスマスはたくさんあります。開催順に並べると、10日のぶどうの木を皮切りに、18日に児童英語、21日にはかわいいページェントが見られるつぼみぐる〜ぶ、その夜には成人英会話、そしてラストは26日にプライムタイム&きらきら教室の合同クリスマスと続きます。YMCAだけで全部で5回、それぞれ趣向を凝らしたクリスマス会が盛大に行われます。この後もスキーキャンプで毎晩クリスマスのお話をします。ありがたいことにすべてに出番をいただける私にとって、12月は神様に祝福されまくる感じです。それぞれ対象に合わせてクリスマスのお話をしたり、ギターを弾きながらクリスマスソングを歌ったりします。クリスマスツリーはなぜみみの木なの?クリスマスカラーはなぜ赤と緑なの?クリスマスにはなぜキャンドルをともしの?三人の博士が持ってきたプレゼントの意味は何?そもそもなぜプレゼントってもらえるの?それぞれ深〜い意味があります。そんなお話を聞く時の子供たちのきらきらした目が好きです。こうした時間を過ごすたびにYMCAで働いている喜びを感じます。

そしてYMCAと共に歩む山梨の三つのワイズ(甲府、甲府21、富士五湖)もそれぞれクリスマス例会を行います。ボーイスカウト甲府5団のクリスマス、教会一致懇談会の県民クリスマスもあります。カレンダーを確かめながら、今年も楽しいクリスマスシーズンを過ごしたいと思います。



会員在籍者数 35名 (2019年11月30日現在)

11月出席率
例会出席者 27名
その他行事出席者 7名
合計 34名
出席率 34÷35=97%

HAPPY BIRTHDAY IN DECEMBER

メン 葉袋 勝メン 12/15
茅野 崚メン 12/17
饗場 裕メン 12/20
メネット 寺田 岸子 12/7

12月の誕生花である赤バラ。花言葉は、「情熱」や「愛情」「美」「あなたを愛します」



https://www.facebook.com/groups/1371512503011588/

http://www.kofu21.com

THE SERVICE CLUB OF Y.M.C.A.
THE Y'S MEN'S CLUB OF KOFU 21

2019年(令和元年)12月8日(日) 発行

山梨県甲府市中央5丁目4-11
山梨YMCA青少年センター
〒400-0032 TEL 055-235-8543
FAX 055-235-8553

ブリテン委員長 後藤哲夫

国際会長主題: Building today for a better tomorrow
アジア太平洋地域会長主題: アクション! Action!
東日本区理事主題: 勇気ある変革、愛ある行動
あざさ部長主題: あなたの入会時のときめきと多くの経験をワイズのために!
甲府21クラブ会長主題: 『対話と実行』

Jennifer Jones(豪州)
田中 博之(東京多摩みなみ)
山田 敏明(十勝クラブ)
赤羽 美栄子(松本クラブ)
荻野 清

甲府21ワイズメンズクラブ
2019年12月会報
強調月間 EMC=MC

今月の聖句

「見よ、おとめが身ごもって男の子を産む。その名はインマヌエルと呼ばれる。」
この名は、「神は我々と共におられる」という意味である。
マタイによる福音書 1章 23節

山本 護 牧師選

会長挨拶

12月の風物詩

甲府21ワイズメンズクラブ会長 荻野 清

毎年12月の風物詩といえば、Xmasソングと並んで聞こえてくるのが、ベートーベンの「第九」です。しかしながら、これはわが国だけの現象のようです。例外的に、ドイツの「ライプツィヒ・ゲバントハウス管弦楽団」が、第一次世界大戦の終結した1918年の大晦日に、平和と自由への願いを込めて「第九」を演奏して以来、このオーケストラでは12月31日の演奏が伝統となっています。

わが国で年末に「第九」を演奏する先駆けとなったのは1943年で、東京音楽大学(現東京芸術大学)の奏楽堂で行われた学徒壮行音楽会といわれ、文科系学生が徴兵され、12月に入隊をしたためです。一方、プロのオーケストラが年末に「第九」を演奏したのは、1938年に新響(現在のN響)がドイツから招いた指揮者ローゼンシュトック氏の下での演奏が最初です。その後、N響が毎年12月にこれを演奏し、これが恒例化へ先鞭をつけたといわれています。

本稿を記しているときに、YouTubeから山下達郎の『クリスマスイブ』が流れてきました。この楽曲は1983年12月に発売、速攻で購買。すでに36年が経過しますが、今なおロングヒットを続け、いつでも新鮮な感覚で耳を傾けることができる一曲です。クラシックファンには大変失礼かもしれませんが、師走の足音を聞くと、この名曲と『第九』が同等に、何時も付き纏って来る感があるのは、小生だけでしょうか。

巷では、彼方此方でコンサートの開催ポスターが目にとまります。クラシックコンサート、シンガーソングライターのコンサート及びXmasディナーショーと音楽イベントが満載です。とはいうものの、年の瀬に『第九』の演奏会で感動の一夜を過ごしたいですね!!

O Freunde, nicht diese Töne!
Sondern laßt uns angenehmere
anstimmen und freudenvollere.
Freude, schöner Götterfunken,
Tochter aus Elysium
Wir betreten feuertrunken,
Himmlische, dein Heiligtum!

Deine Zauber binden wieder,
Was die Mode streng geteilt;
Alle Menschen werden Brüder,
Wo dein sanfter Flügel weilt.

①開会点鐘
②ワイズソング
③ワイズの信条
④会員スピーチ
⑤会長挨拶
⑥ゲスト・ビジター紹介
「入会式」

- ・開式のことば(進行者)
- ・入会者、立会人登壇
- ・入会者の紹介(野々垣健五メン、佐藤重良メン)
- ・キャンドル点灯
- ・入会式(式文朗読) 荻野清会長
- ・ワイズバッジ装着
- ・歓迎の挨拶 荻野清会長
- ・入会者の挨拶(赤池譲司メン、浅川貴明メン)
- ・閉式のことば(進行者)

⑦諸報告

休憩(5分)

⑧閉会点鐘

司会: 鎌田 巖メン
奏楽: 荻野優子 ほか

司会: 鎌田 巖メン
荻野清会長

司会: 米長晴信メン
荻野清会長
荻野清会長
: 米長 EMC 委員長

司会: 赤根学メン
荻野清会長

株沼田鉄筋 会長 沼田三郎様

興水次期会長

進行: 赤根メン 藤原メン

荻野清会長

卓話者プロフィール

山本 護(やまもと まもる) 様



日本基督教団八ヶ岳伝道所 牧師
1957年、東京生まれ。人脈も人望もないので、按手札を受けて牧師になったら開拓伝道をしようと考えていた。1994年、見知った者のいない山梨県北巨摩地方で開拓を始め、やがて信徒も集まり2008年に教団加盟が実現、試みながらぼつぼつ礼拝堂なども造った。いつのまにか還暦を過ぎてしまったが青臭さが抜けず、キリスト者とは何か、教会とは何かを自問自答し続けている。

11月例会報告

甲府21ワイズメンズクラブ 寺田 喜長

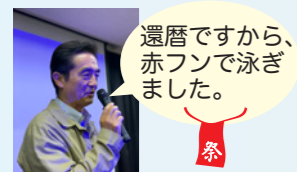
日時 2019年11月5日(火) 午後7時~
会場 山梨YMCA 青少年センター ●司会 寺田喜長メン
今月の聖句、一言、 荻野 清メン
会員スピーチ、 相川貴宏メン

例会当番のブリテン委員会メンバーによるいつもと異なる会場レイアウト設定に何か新鮮味を感じる今月の例会が、定刻に荻野会長の点鐘にて開会。久々にアカペラでのワイズソング斉唱、先月の聖句一言に続いて会員スピーチ担当された相川メンは話題に事欠かず趣味のローカル線「乗り鉄体験」を披露、新たな旅をさせての旅日記を期待。会長挨拶は、2日前に終了しましたYMCAバザーが無事に終了し、甲府21ワンチームでの成果に会員の協力を感謝、YMCAへ目標金額にほぼ近い献金が出来ましたとの報告がありました。

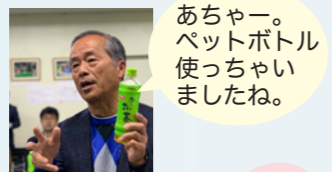
ハッピーバースデーの該当者お二人は誕生日が一回り違いの同じ日で、還暦を迎え赤フンにて2キロを泳がれた先輩と、体調管理に奮闘している後輩、どちらが年配かと思われるお二人のコメント。

ワイズディナーの後は、「国際ワイズメンズクラブアジア太平洋地域大会報告」~今日からできる環境問題へのワンアクション~、と題して山梨県立大学国際政策学部総合政策学科在籍中の藤井うららの卓話を拝聴。先の仙台で開催された大会の「地域コースコンペケーション」に参加されての感想と、そこで学んだ環境汚染の恐ろしさと自分たちが出来る対応として(プラスチックゴミの削減)を目的とし(2年間ペットボトルを使わない)を目標とする「東日本区アクション」を採択、常に水筒を持ち歩き、活動を怠らないようにLINEグループを立ち上げ、ペットボトルを購入してしまっただけにはグループに報告を行うようにしお互いを励まし合いながら活動するとした。とのお話を頂きました。ワイズディナーではペットボトルのお茶をお出ししてしまいました。クラブから参加した会員と共に大川小学校の悲惨な惨事の状況報告も有りました。尚、藤井さんは東京サンライズクラブの江原メンの姪御さんです。

出席者数、メン27名、メネット2名、ゲスト1名、計30名



還暦ですから、赤フンで泳ぎました。



あちゃー。ペットボトル使っちゃいましたね。



ペットボトル使っていることを「反省」している人手を挙げて！(♪ワイズソングの写真です。)

11月卓話抄録

山梨県立大学 国際政策学部 総合政策学科
2年 藤井うらら



国際ワイズメンズクラブアジア太平洋地域大会報告

★開催概要

- 日程 : 2019年7月17日~21日
- 開催場所: 日本/仙台
- 参加国: 日本: 12名、台湾: 10名
- 主会場: 東松島市のKIBOTCHA (旧野蒜小 学校)
- テーマ: Hear the Earth Roar (地球のうなり声を聞こう)

〈環境問題に関するセッション〉
セッションは気候変動、プラスチック問題、自然災害、リサイクル・リユースの4つに分けて行われました。チューターであるAndrew氏の講義を聞いたり、YouTubeで問題についての動画を見たりすることで見聞を深めたのち、地球温暖化の原因やプラスチックを減らす方法などを班ごとに話し合い全体で発表を行いました。その際に下記のアクションプランも掲げました。リサイクル・リユースの回では、実際に自分たちが滞在中に捨てたゴミを分別する作業を行いました。作業の間、台湾の参加者からは台湾ではこうして分別するのは当たり前だと聞き、台湾のリサイクル率が55%と世界の平均35%を大きく上回っていることを体感できました。

〈東日本区 アクションプラン〉

- 目的: プラスチックゴミの削減
- 目標: No Plastic Bottles for 2years! (2年間ペットボトルを使わない!)
- 期間: 次回のAYC開催までの2年間

Kibotchaの防災、被災地訪問(3日目午後、4日目)
3日目の午後には、宿泊しているKIBOTCHAにおいて防災特別教育を受けました。KIBOTCHAは東日本大震災により津波被害を受けた旧野蒜小学校跡地を改装し、遊びを通して防災を学べるようにしたエデュテイメント施設です。
4日目には東日本大震災の被災地訪問として浦宿浜の高政、石巻市立大川小学校を訪れました。こちらの小学校では当時同小6年生であった娘さんを亡くされた佐藤敏朗さんという方に案内をして頂きました。震災の記憶を風化させない為にも、佐藤さんのように当時のことを伝えていくことは大切だと強く感じました。

お知らせ 30年誌委員会より

甲府21ワイズメンズクラブ30周年に向けて、30年誌を発行します。みなさんの思い出写真(スナップ)やグッズ、などを募集しています。写真・冊子などはお借りした上で、スキャナーで取り込んだうえでご返却致します。皆様のご協力をよろしくお願いいたします。

◆はじめまして! Enchanté. ◆

赤池 讓司(あかいけ じょうじ) さん



甲府市在住
1958年7月16日生(61歳)
この度は入会させていただきありがとうございます。職業はカトリック系学校法人の事務局長をしております。ここ近年の法律改正により幼児教育の経営が変化している中で、理想の教育と経営のバランスを考えながら仕事をしております。今回、前職の先輩(野々垣メン、荻野メン)及び後輩(赤根メン)から声をかけていただき入会することとなりました。よろしくお願いたします。

浅川 貴明(あさかわ たかあき) さん



昭和59年7月8日生まれ 35歳
甲府市出身 業種 造園業 経験18年
家族 奥さん 名前 浅川 久子
子供 2名 中学3年生 小学校1年生
放課後山梨YMCAに参加中。
活動 甲府青年会議所メンバー 甲府市消防団・貢川分団 自治会活動・体育部長と多彩な活動 している中休み無しで仕事に熱中・合間に青年会議所・消防団・自治会等の活動しているまじめな人。趣味=仕事かな(佐藤重良談)

初めてフライングディスク大会に参加して

甲府21ワイズメンズクラブ 宮岡 宏実



会場は小瀬スポーツ公園山梨中銀スタジアム



左・前方の丸い輪を通過させる競技。10投して何枚通過するかを競います。右・競技終了後。ペットボトルをねらって!!

11月17日、ワイズメンに入会してから初めてのフライングディスク大会に参加させていただきました。甲府21クラブからは小澤公紀さん、寺田さん、松村豪夫さん仁子さんと私宮岡の5名が参加。選手の誘導と表彰式での「万歳」を担当しました。1位だけとでなく、参加者全員に賞が与えられたので、順位に関係なくみんなが大はしゃぎする姿がとても印象的でした。私もFUJISAKURA塾の子どもたちを預かっている立場として全員に喜んでもらうということの大切さを実感しました。来年の大会が楽しみです。

さよならバザーを実施して

甲府21ワイズメンズクラブ 佐藤 重良



第59回 山梨YMCAのバザーは2019年11月2日(土)実施されました。ここでの開催は、今回で終わりとなります。我々甲府21の開催場所は1階の玄関入口。最後のバザーを、にぎやかに、盛大に実施しようと、クラブ全員団結しワンチームになって、グリーンジャンパーを着て取り組みました。少し年取った甲府21のクラブ員と、キラキラ教室の元気な子供たちと協働

の販売は、活気のある売り場となりました。売り場は、「福袋」「風船」「綿あめ」「焼き芋」「ポップコーン」「古本市」「花売り」「大根等の野菜市」「古着市」でした。この中の「野菜市の状況と経過」をお話します。

野菜市は大根と白菜・ネギを販売しました。大根と白菜は山梨YMCAのキラキラ教室の子供たち(体験学習を兼ねて)と8月の後半から種をまき、11月1日の収穫まで一緒になって協働作業で実施しました。収穫は大根340本・白菜75株であります。ネギは畑の提供者の境川町の沼田様から無料で献品提供(約1200本)していただきました。沼田様には毎年大根・白菜の畑床作りから収穫まで、すべての段階でご指導もいただきました。ここに心から御礼と感謝申し上げます。

野菜の売り上げは、総額49,000円でした。原価はその金額の数倍かかっています。原価計算をすると、大幅な赤字であります。育成をキラキラの子供たちと協働でやったこと、お客様に安くておいしいとお褒めをいただいたことで、苦勞してよかったと満足しています。しかしここでバザーの意味をもう一度考えてみましょう。5年前私の考えは、売り上げを、利益を沢山出す事。そして山梨YMCAに献金することでなければならぬと考えて実施していました。その考え方で5年間実施してきましたが、結果毎年赤字。人件費を考えた上での利益を上げることは絶対無理である事がようやくわかりました。

そこで考えも新たに、バザー開催の意義は「山梨YMCA及び関係者の存在をPRする絶好の機会」であるべきと思います。1年に1度、多くの市民に来ていただき、献品とボランティアで山梨YMCAの活動を見ていただく。ワイズメンズクラブ、ボイスカウト、キラキラ教室、ブドウの木 他山梨YWCA 関連団体を見ていただき理解していただく場所ではないか。そして結果として山梨YMCAのファンが多くなり、各種教室の入会や、各種活動を共にする我がワイズメンズクラブの奉仕活動もわかっていただき、賛同者が増え、入会者が増えるようにしたいものだと思います。単にモノを売り、収益を上げることでなく、山梨YMCAのためになることをコンセプトにして掲げ、(結果として社会貢献をする)各組織のPRの場所とするべきと考えます。

バザーは年一度の感謝を込めて、実施してはいかがでしょうか。

お知らせ 1月号「今年の抱負」依頼

- 2020年1月号プリテンでは、皆様の「今年の抱負2020」を掲載いたします。については、各自3行で2020年の抱負をメールでお寄せください。
- 1) メール宛先 tetsuo_goto@yahoo.co.jp (後藤委員長)
 - 2) タイトルは「今年の抱負2020」
 - 3) 本文に「今年は漢字検定にチャレンジ。2級を目指します」のように抱負をお書きになってください。
 - 4) 締切は勝手ながら12月25日(水)とさせていただきます。